

Flags

自動認識の世界をより身近に

vol.152 2018
1月号

『新年のご挨拶と 自動認識業界の動向について』

明けましておめでとうございます。

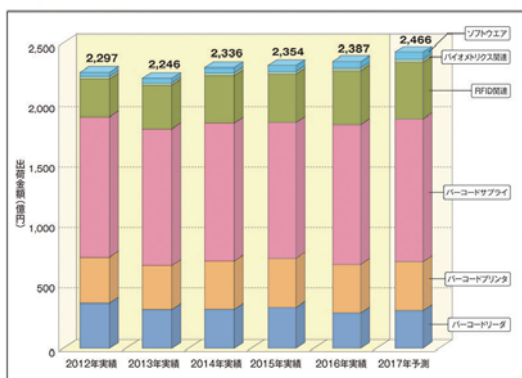
いつも、ご愛読いただいております本紙 **Flags** も発刊から 13 年目を迎えることができました。

読者の皆様の日頃のご愛顧に感謝いたしますと共に、今後も微力ながら皆様のお役に立つ自動認識関連情報をお届けして参りますので、今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

昨年までの自動認識業界の動向

一昨年(2016年)の自動認識市場全体の出荷金額合計は、自動車、電気、機械業界の設備投資の増加や、流通、物流、サービス、医療業界の安定した需要から、金額ベースで、前年対比3.4%増の2,435億円が見込まれておりましたが、実際は、前年対比1.4%増の2,387億円でした。カテゴリ別ではバーコードサプライ、RFID、バイオメトリクス、ソフトウェアが伸びましたが、バーコードリーダ、バーコードプリンタは昨年を下回る結果となりました。そのため、各分野の前年対比の出荷金額は、バーコードリーダが14.1%減の293億円、バーコードプリンタが1.2%減の404億円、バーコードサプライが2.9%増の1,163億円、RFIDが11.8%増の451億円、バイオメトリクスが2.4%増の21億円、ソフトウェアが10.4%増の56億円という数字に終わりました。

自動認識市場出荷金額の推移 (日本自動認識システム協会提供)



ました。

2017 年度は、未だ集計ができていないため予測の数字ですが、自動認識市場全体の出荷金額は、自動車、電気、機械業界の設備投資の増加、個人消費の改善に期待し、また流通、物流、サービス業、医療での安定した需要から、2016 年対比 3.3% 増の 2,466 億円を期待しています。中でもバーコードリーダは、一次元コードから二次元コードに置き換えが進んでいることから、二次元イメージの出荷台数、金額の増加を予測しており、全体の出荷金額は、2016 年対比 7.3% 増の 314 億円を予測しています。RFID に於いては、アパレル、製造業での設備投資等での需要から、出荷金額は、2016 年対比 5.3% 増の 475 億円を予測しています。

2018 年度の市場動向

昨年(2017年)における日本経済は、緩やかな回復基調が続く中、AI (人工知能)、IoT(Internet of Things)、ロボティクス、ビッグデータなどインダストリー 4.0(第4次産業革命)に繋がる技術が進み、その同調が各業界でも見受けられる年でした。スマートフォンやタブレットといったモバイル機器だけでなく、家電・自動車・建物・産業機器といった様々な『モノ』と



UHF帯一括検品トンネルリーダライタ

従来のバーコードによる検品では、開梱して個々の商品を取り出し、バーコードラベルをたぐって読み取る必要がありました。UHF帯ICタグによって、梱包されたままで一括読取が可能となり、受け入れ検品の作業負担が大幅に軽減可能となります。

『モノ』とがインターネット上でつながるIoT、M2M (Machine to Machine) により、2020 年には 500 億台以上のデバイスが接続されるとも予測されています。さらに、モノとモノだけではなく、「工場と工場」、「工場と倉庫」、「工場と消費者」といった形で総合的なデジタルネットワークの拡大が想定され、新しい商品や新しいサービスの創出なども期待されている中で、自動認識機器、サプライ、ソフトウェアは、トレーサビリティ、流通・物流製造システムの効率化などのニーズを背景として、需要が拡大傾向にあります。IoT や M2M、インダストリー 4.0 などを活用した新分野では、個体識別やビッグデータなど情報管理が必須となるため、モバイル機器やウェアラブル機器の活用による情報の更なる「見える化」が行われます。

また、2017 年には経済産業省と大手コンビニ 5 社による『コンビニ電子タグ 1000 億枚宣言』が発表され、11 月にはアパレル最大手のユニクロが 1 年以内に国内約 2000 店舗の全店で IC タグ(UHF 帯 RFID)を導入すると発表され

ました。過去の出荷統計を見てもRFID分野は堅調に市場拡大が続けてきましたが、2018年は正しくUHF帯RFID元年とも呼べる劇的な時期に突入することが容易に想像できます。

当社も数少ない純国産メーカーとして長年のRFID製品開発の実績から、

お陰様で様々な業界からお声掛けをいただいています。開発部門から聞こえる、様々な難題に立ち向かう悲鳴を「歓喜の声」と捉えて、心地よく聞き流すようにしている次第です。

当社社長より新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中は当社事業に際しまして格別のご高配を賜り誠に有難うございました。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、当社は昨年10月30日を以て創業20周年を迎えまして、今春4月より新たに21期目に入ります。これも一重に日頃より大変ご愛顧頂いております多くのお客様方とお支え頂いている全ての取引先様方々の賜物であります。社員一同心より感謝致し、改めまして御礼を申し上げます。

さて、昨年は、秋の衆議院選挙で政府与党が圧勝し、株価も史上初の16日連続、21年振りの平均株価2万2千円台越えをし、日本経済は緩やかに回復の兆しが見え始めております。

当社の属する自動認識業界では、昨年より急速に期待が高まってきたIoTやAI(人工知能)、「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」などの潮流に押され、今後の事業展開に向けてかなりの追い風が吹いてきているように感じています。昨年リリースを開始した小型軽量のデータキャリアMID-100は、人手不足に悩む運送・物流業界で、集荷の仕事を担うドライバー各位の負担を減らす工夫が随所になされており、現場で大変ご好評をいただくことができました。また、UHF帯自律分散型リーダーライタFRU-4xxxシリーズにおいては、一括での読取精度に高い評価をいただき、大手アパレルメーカー様でのご採用をいただくことができました。一方で積極的に取り組んでいるX線検査装置の分野においては、世界的なEV(電気自動車)化に向けて、国内、海外各種電池メーカー様から多数の引合いを頂き、お納め出来ました。特に新製品TUX-3300Nは、世界最高峰の「焦点サイズ0.25 μ m」の自社開発X線源を搭載し、お客様のニーズにあわせて各種新機能を充実させ、技術躍進が目覚ましい高品質の物造りの現場を支える製品とすることが出来ました。

今年の干支である戌(イヌ)年は、昨年の酉年「商売繁盛/収穫」の後の「守りの年」と言われています。製品の研究、開発ばかりに目を向けるのではなく、同時にアフターフォローやリスクヘッジをすることで皆様方とより一層の信頼感を深めさせて頂くことも大変重要であると考えております。この戌年の謂れにあやかり、今年も皆様方とWIN-WINの良好なご関係を築き続ける企業でありたい想いがあります。そのために、お客様にとっての「価値あるシステム・安定した製品・質の高いサービス」の向上を図りご満足の提供を使命として考えております。今年もその想いで、毎月定期的に本Flags(月刊情報紙)をお届け申し上げます。どうぞご笑納くださいませ。

今年も何卒倍旧のお引き立ての程をよろしくお願い申し上げます。

2018年1月
株式会社マーストーンソリューション
代表取締役社長

村上 浩

第35回 エレクトロテスト ジャパン

エレクトロニクス検査・試験・測定・分析技術展

日本最大のエレクトロニクス検査・試験・測定・分析技術展であるエレクトロテストジャパンに当社のX線検査装置を出展いたします。展示の内容、無料入場券などお気軽に当社営業担当へお問い合わせください。



汎用ナノフォーカスX線顕微鏡検査装置
TUX-3300N

問合せ窓口 042-484-6155

第三本部 X線営業部

2018年1月17日[水]

～19日[金]

10:00～18:00

(最終日のみ17時まで)

於：東京ビッグサイト

AUTOT & COMMUNICATION EXPO

第15回 自動認識総合展 大阪

会期：2018年2月22日[木]～23日[金]
10:00～17:00

会場：マイドームおおさか 1階展示場

当社ブース番号：25



インテリジェントデータキャリア
MID-100

「自動認識総合展 大阪」は、関西で唯一の自動認識総合展です。新製品のデータキャリアをメインに出展いたします。その他、各種スキャナ等を展示して、ご来場をお待ちしています。

無料招待券は当社営業担当まで

次号予告

2018年2月号は...

『エレクトロテストジャパン
開催レポート』
についてです。

Flags 2月号は 2月 7日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags/フラッグス

2018年1月号 Vol.152 2018年1月11日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
日立営業所	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
名古屋営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
大阪営業所	Tel:052(218)7661	Fax:052(218)2607
福岡営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
X線営業部	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
	Tel:042(484)6155	Fax:042(489)9241

MTS 株式会社マーストーンソリューション

<http://www.mars-tohken.co.jp>